

☆日印一緒に歩む時代に

信毎セミナー

○：「(インドと日本は)一緒に歩んでいく時代に入っている」。コンサルティング会社のインド・ビジネス・センター(東京)の島田卓社長は、人口12億人の巨大市場・インドで日本企業が進むべき道筋を解説した。写真。



米国はインドで技術者の育成を支援し、優秀な人材を自国のIT産業で受け入れていると説明。日本もインドとのつながりを深め、

「双方が利益を得る仕組み」をつくるべきだと述べた。若年人口が多いインドでは雇用の場が求められている。とも指摘。技術力のある日本企業が進出することで、現地の産業の非効率な面を解決するとともに「若者に就労の機会も与えられる」と語った。

(26日・飯田市)